

Akashi College		Year	2019	Course Title	Architectural Design Studio II B
Course Information					
Course Code	0038	Course Category	Specialized / Compulsory		
Class Format	Seminar	Credits	Academic Credit: 2		
Department	Architecture	Student Grade	2nd		
Term	Second Semester	Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	テキスト：日本建築学会編：コンパクト建築設計資料集成、丸善、2005川北健雄他：初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ、彰国社、2010その他、演習課題の内容に応じた資料を適宜配布する				
Instructor					
Course Objectives					
1)立体的な発想とその表現ができる。 2)与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスが出来る。 3)敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。 4)配置図、各階平面図、立面図、断面図、さらに模型またはパースなどを製作できる。 5)講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	的確に立体的な発想とその表現ができる。	立体的な発想とその表現ができる。)立体的な発想とその表現ができない。		
評価項目2	的確に動線・ゾーニングのエスキスが出来る。	動線・ゾーニングのエスキスが出来る。	動線・ゾーニングのエスキスが出来ない。		
評価項目3	的確に周辺地域および景観などに配慮した設計ができる。	周辺地域および景観などに配慮した設計ができる。	周辺地域および景観などに配慮した設計ができない。		
評価項目4	的確に図面および模型またはパースなどを製作できる。	図面および模型またはパースなどを製作できる。	図面および模型またはパースなどを製作できない。		
評価項目5	的確にコンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができない。		
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 (F) 学習・教育到達度目標 (H)					
Teaching Method					
Outline	本科目では、比較的簡単な不特定多数の人々が利用する施設の設計を通じて、敷地のコンテクストを読み取る能力を身につけ、基本的な設計の手順を理解することを目的とする。なお、この科目は現在設計事務所を主宰している教員が、その経験を活かし最新の設計手法等について演習形式で授業を行うものである。				
Style	敷地調査から始まり、敷地模型、ボリューム模型、機能の検討、空間構成、細部の検討、図面模型の制作、講評会という具合に、一歩ずつ段階を踏んで設計手法を体得する。本授業は複数教員が担当し、適宜、講義やエスキス、講評などを行う。本授業形態は、敷地調査やグループワーク、レポート発表、プレゼンテーションなど、段階に応じて適切な方法をとる。				
Notice	本科目は授業で保証する学習時間と課題作成に必要な自己学習時間の総計が90時間に相当する学習内容である。教科書をよく読み、計画的に進め、提出期限を厳守すること。類似施設の見学など自主学習につとめること。スケッチブックやトレーシングペーパー及び設計製図に適した道具を使い、それらの使い方を習得するようつとめること。目標を達成するためには、授業時間外に課題を行う必要がある。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課				
Course Plan					
			Theme	Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	第1課題：オリエンテーション ため池ギャラリー課題説明 (中村・大塚)	この授業の進め方について理解する 全体スケジュールを理解する	
		2nd	第1課題：敷地を読む(1) 敷地調査&資料調査&模型製作 (中村・大塚)	敷地調査の結果を野帳に描く 調査結果を分析して図や写真を用いてわかりやすくまとめること、グループで協力して敷地模型をつくること ができる	
		3rd	第1課題：敷地を読む(2) 調査結果を発表し、講評を受ける (中村・大塚)	敷地分析の結果をグループで共有することができる	
		4th	第1課題：プログラム(機能)を考える 展示計画を考える (中村・大塚)	展示計画と機能図を作成することができる	
		5th	第1課題：建物をボリュームで考える 敷地模型を用いてボリューム模型を作成する (中村・大塚)	ボリューム模型を作成し、ボリュームで検討することができる	
		6th	第1課題：空間の囲み方・支え方を考える(1) ボリューム検討したものを図面にする (中村・大塚)	平面図・立面図・断面図を作成することができる	
		7th	第1課題：空間の囲み方・支え方を考える(2) ボリューム検討したものを図面にする (中村・大塚)	平面図・立面図・断面図を作成することができる	
		8th	第1課題：中間講評会 ボリューム模型と図面を提出し、講評を受ける (中村・大塚)	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる	
	4th Quarter	9th	第1課題：細部を考える(1) 中間講評会で指摘された点を踏まえて、案を練り直す (中村・大塚)	講評を受けて平面図・立面図・断面図・アクソメ図を修正することができる	
		10th	第1課題：細部を考える(2) 中間講評会で指摘された点を踏まえて、案を練り直す (中村・大塚)	平面図・立面図・断面図・アクソメ図を作成することができる	
		11th	第1課題：最終図面の作成 完成した図面のレイアウト・模型作成 (中村・大塚)	正しい製図表現を用いて図面を作成し、模型で表現することができる	
		12th	第1課題：講評会(1) 模型と図面を提出し、講評を受ける (中村・大塚)	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる	

	13th	第1課題：講評会（2） 模型と図面を提出し、講評を受ける（中村・大塚）	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる
	14th	第2課題：コンペ案の作成（中村・大塚）	短い時間でアイデアを形することができる
	15th	第2課題：コンペ案講評会（中村・大塚）	自分の考えを人に分かりやすく伝え、質問に的確に答えることができる
	16th	期末試験実施せず（コンペ図面の完成）	自分のアイデアをわかりやすく1枚の図面に表現することができる

Evaluation Method and Weight (%)

	エスキス・レポート	最終成果物	発表・講評会	Total
Subtotal	20	70	10	100
基礎的能力	10	20	0	30
専門的能力	10	30	0	40
分野横断的能力	0	20	10	30